

進捗状況報告シート (2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	教育学研究科
大項目 4 教育研究組織（研究科）	
中項目	
小項目	4. 0. 1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1) 研究活動の状況
小項目	4. 0. 2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

Ⅱ. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標·指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価										
1. 2013年度の学部再編と同時に研究科の改編も行うが、そのための教育研究組織の検討を行う。	→「将来ビジョン委員会の開催回数」	 B <table border="1" data-bbox="1738 1416 1911 1426"> <tr> <th>2009</th><th>2010</th><th>2011</th><th>2012</th><th>2013</th></tr> <tr> <td>B</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	2009	2010	2011	2012	2013	B				
2009	2010	2011	2012	2013								
B												

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	→	2009	2010	2011	2012	2013
	→						
	→						

※ 全小項目について記述が必要

《評価指標データ》

博士研究員（P D）の受入状況

日本学術振興会特別研究員（DC、PD）の受入人数

研究誌発行状況

提携大学との研究誌等の交流状況（送付・受入）

専任教員の発表論文数【基本的な指標データ】

学術賞の受賞状況【大学基礎データ】

学会誌・国際学会議事録等に掲載された学術研究論文件数

21世紀COEプログラムの採択状況

文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業の採択状況

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業採択状況【基本的な基礎データ】

特定プロジェクト研究センター制度の活用状況

国際学会でのゲストスピーカーの延べ回数

追加データがあれば追加してください

◎効果が上がっている事項 **※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。**

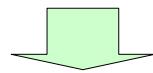
《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 **注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。**

小項目 4.0.1

★ 小項目 4.0.2

その他

【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策



注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目 4.0.1

★ 小項目 4.0.2

その他

◎改善すべき事項 **※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。**

《点検・評価(2)》改善すべき事項 **注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。**

小項目 4.0.1

学部再編と連動する研究科の教育研究組織の再編は重要であり、重点的な検討が必要である。

★ 小項目 4.0.2

その他

《次年度に向けた方策(2)》改善方策



注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目 4.0.1

2011年度にまとめる学部再編計画にあわせて研究科の教育研究組織の具体的な再編計画を立案する。

★ 小項目 4.0.2

その他

◎自由記述

《点検・評価》&《次年度に向けた方策》

★ その他
(自由記述)

III. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

○将来ビジョンに基づく教育研究組織の具体的な再編計画の作成が期待されます。

【学内委員】

○単に文言だけに係ることですが、改善の方策は、「調査する」など行動で記述することが望ましいと思います。

○「教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。」という点に対する現状の説明「将来ビジョン委員会のWGにおいて検討を開始した。」はそぐわないでしょう。また、検証しているにチェックがついていますが、その事の説明が必要となります。

○本項目は、組織の在り方についての検討経緯や結果を説明するのではなく、大学として教育学研究科という教育研究組織が適切か、理念・目的を実現するために相応しいか、について聞いています。従って、このような視点での説明が求められます。

【大学基準協会:評価に際し留意すべき事項】

○小項目 4. 0. 1

基盤評価: なし

達成度評価: 「教育研究組織が、当該大学、学部・研究科等の理念・目的を実現するためにふさわしいものである」

○小項目 4. 0. 2

基盤評価: なし

達成度評価: 「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育研究組織の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている。」

IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

《現状の説明》 4. 0. 2 の (説明) 部分を下記のように修正。

★ (説明) 将来ビジョン委員会のWGにおいて検討を続けている。教育学部の一期生が進学する2013年度に学問領域の増設することなどを検討対象としている。